ECHONET
（Energy Conservation and Homecare Network）

「Society 5.0」

ECHONETコンソーシアム
戦略構築WG

2018年10月16日
WG主査
ミライトテクノロジーズ
常務執行役員　宮崎達三

Market expansion by Connect

「Society 5.0」
Connected Industries

ECHONET 2.0

↓

ECHONET Lite × IoT

Market expansion by Connect

(1) Convenient comfortable support

The purpose of life improvement

(2) Cyber dark

エコーネットコンソーシアムの新たな取り組み（ECHONET1.0➡ECHONET2.0）

～ECHONET2.0～　基本方針

1．2018年　新たに次の10年を見すえた新戦略を策定　➡　ECHONET2.0の戦略策定

2．新戦略は、時代のニーズ（IoT、IoB等）に対応：　世界一の普及（ECHONET）台数を武器にサービス創造

（１）IoT機器への適用・拡大

（２）IoTネットワーク化の促進（コントローラ機器の拡大と各家庭・中小オフィスへの普及促進）

（３）多種多様なサービスを実現するための仕組み作り（クラウド連携）

3．国際標準化、国際展開をこれまで以上に積極的に推進

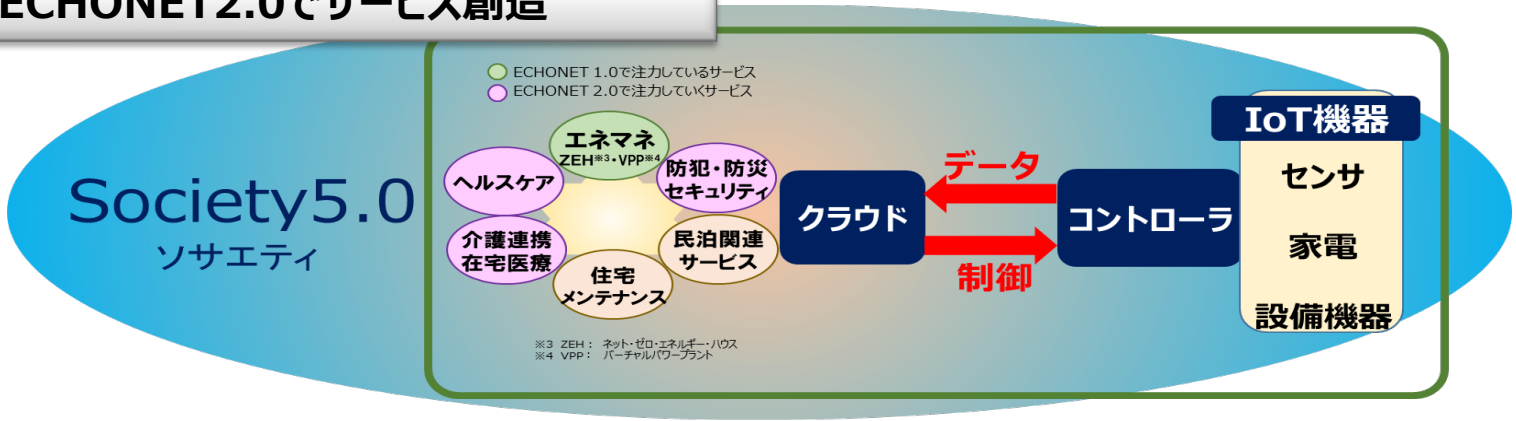
4．国内、国外の標準化団体、ディファクト標準団体と積極的にアライアンスを展開

ECHONET2.0の目標

（1）世界一のIoTスマートハウス・オフィスの普及

（2）経済的発展と社会的課題の解決に貢献する日本を代表する国際標準インタフェースの推進・展開

ECHONET2.0でサービス創造



実装機器拡大のための新たな取り組み分野

ECHONET　（Energy Conservation and. Homecare Network）

ECHONET1.0　「ECHONET Lite 規格」普及の方程式

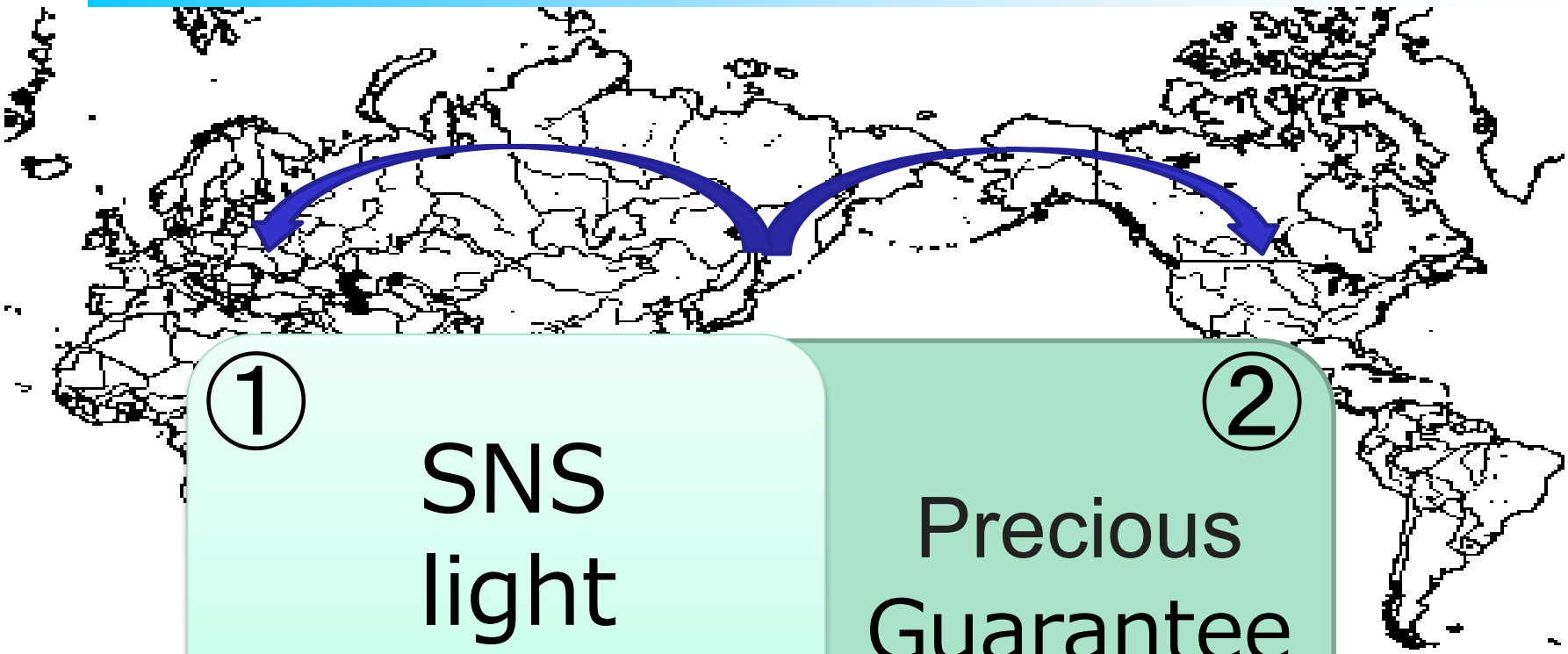
1．新たな参画者にやさしい技術仕様、国際標準インターフェース
2．専門分野の深堀り：エネルギー分野（スマートハウスHEMS）に特化
3．実装から拡大展開に資する強力な官民連携体制の構築
　経済産業省、総務省、環境省、国土交通省など国をあげてECHONET Lite規格の普及体制を構築
4．標準化と教育・研究を両輪とした国際連携
　2015 年ISO/IEC国際標準規格承認。ASEAN諸国を中心に研究開発・地域拠点が稼働

方程式の活用

ECHONET2.0
次の専門分野の取り組み

ヘルスケア（医療・介護含む）、ホームセキュリティを中心に深堀り

Problem of electronic data storage of Japan

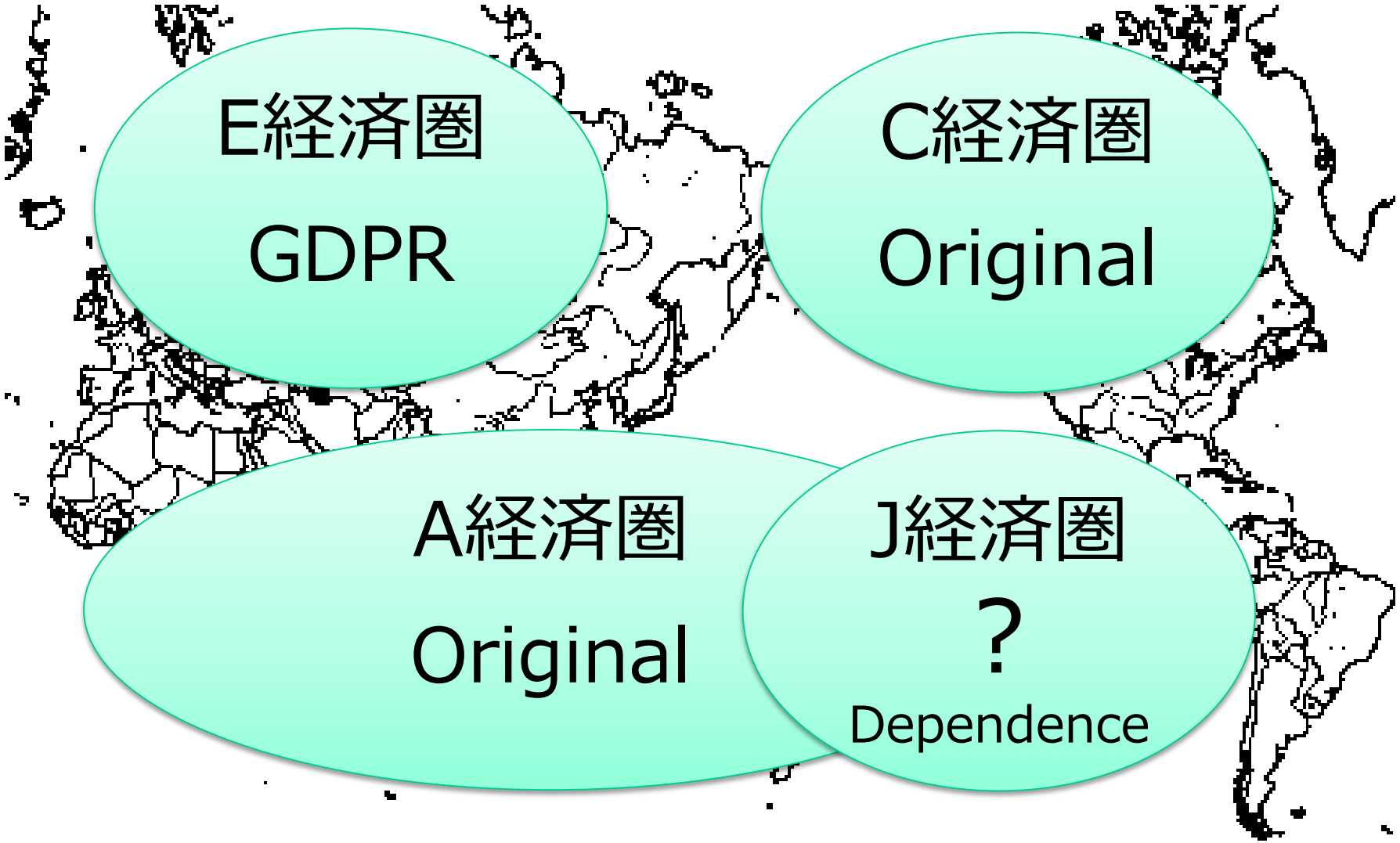


① SNS light

② Precious Guarantee

③ Bad

Policy : Data security



ECHONET2.0 Policy : Trusted

health care

home security

Trusted

Trusted Platform

Trusted Data

IoT時代におけるECHONET2.0に向けた取り組み

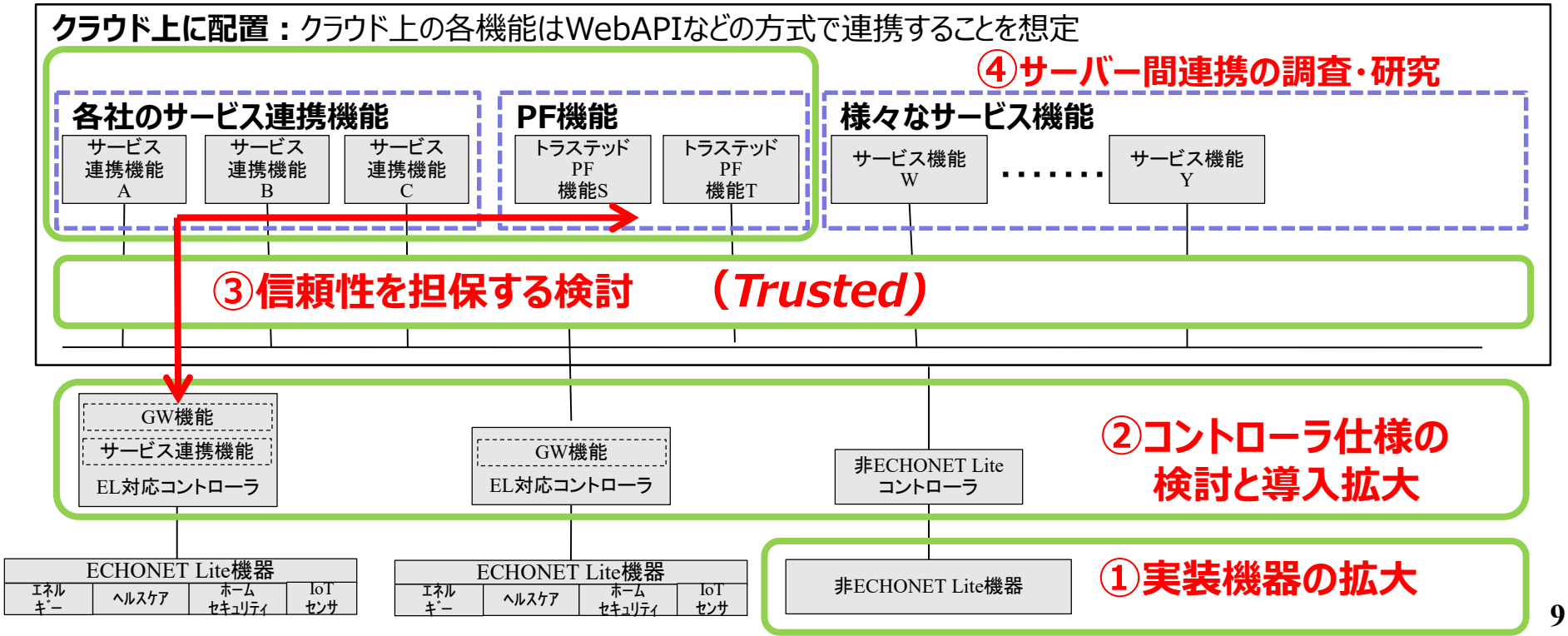
「Society 5.0」

①IoT機器等、非ECHONET Lite機器のECHONET Lite実装の拡大
- ECHONET Lite機器オブジェクト定義化（ヘルスケア機器、IoT機器、センサー機器　等

②IoTネットワーク化を促進する、コントローラ仕様の検討と導入拡大
- 既存コントローラ資産を活用し、サービスの拡張が容易となる仕様の検討（オープンソースの検討）
- ユースケースに対応したアプリケーションインタフェースの開発・加速（AIFの開発）

③信頼性を担保する検討（Trusted）
- コントローラとクラウド間において、安全で信頼性の高いサービスが実現できるガイドラインの検討、セキュリティの担保

④多種多様なサービス導入に向けたサーバー間連携の調査・研究
- WebAPIの調査・研究、検証環境の構築



新戦略*ECHONET2.0*の目標：世界一の*IoT*スマートハウス･オフィスを実現

「*Society 5.0*」

2018.12.18（火）　慶應義塾大学　三田キャンパス　G-Lab

～ECHONET2.0戦略について～

1．ECHONET　Lite実装機器：　　台　　（2020年）

2．機器制御コマンドの定義　：　　種類以上　（2025年）

3．ホームコントローラ（GW）：　　世帯導入へ（2030年）

END